

対東ティモール支援
平成24年度草の根文化無償資金協力
「受容真実和解委員会歴史資料館資料室改築計画」署名式

平成25年3月13日

平成24年度草の根文化無償資金協力「受容真実和解委員会歴史資料館資料室改築計画」の署名式がポスト受容真実和解委員会事務局で行われ、日本政府はポスト受容真実和解委員会事務局（以下、ポストCAVR事務局）が実施する同プロジェクトに対し、116,030米ドルを供与しました。なお、草の根文化無償資金協力は東ティモールにて初めて実施されます。



ロドリゲス長官、スミス副大臣、イザベル大臣、バス
コンセロス代表（左から）

本案件はポストCAVR事務局の会議室を改修し機材整備を行うと共に、歴史的価値の高い施設を保存するための整備を行うものです。また、本案件を通じ、ポストCAVR事務局は東ティモール独立闘争を経験した人々の体験談とその歴史に係るワークショップを開催し、独立闘争を体験していない若い世代への歴史教育及び人権の重要性を伝えます。

本竣工式には日本政府から本使、東ティモール政府側からはイザベル・グテレス社会連帯大臣、ヴィルジリオ・スミス教育副大臣及びルイス・ロドリゲス公共事業担当国務長官他が出席しました。

